

夏合宿報告書

'12 北アルプスパーティ



・山城

薬師岳、三俣蓮華岳、双六岳、槍ヶ岳

・メンバー

C.L. 渉外 装備 会計：田邊真輝（理工学部電子情報工学科2年）
S.L. 記録 気象：松崎祐太（農学生命科学部園芸農学科4年）
医療 装備：今野智望（農学生命科学部分子生命科学科3年）
気象 エッセン：本田泰彬（理工学部数理科学科1年）

装備報告

担当:今野

- ・ テント：ワソダ、ノーボーダ使用
- ・ ツェルト：イエローⅢ使用せず
- ・ 火器：「薬」「熱」使用
- ・ ブス板：2枚使用（書き込みも完了）
- ・ ガス缶：3缶使用
- ・ 天気図用紙：10枚使用
- ・ ろうそく：大2本使用せず
- ・ 修理具：瞬間接着剤使用（今野のヘッテン修理のため。ちなみに失敗した）
- ・ 絵日記：毎日記入

感想

今回の夏合宿ではいくつかのアクシデントが起こったものの、無事に終了して良かったです。それにしても、アルプスの山小屋は高性能ですね。感動してしまいました。値段は高いですが、色々なものが買えたり宿泊できたりするのは強みだと思います。

装備としての感想は、テントはやはりしっかりと防水してから行きたいですね。1つのテント（本体とフライ）で2本は使って防水したいです。おかげで今回の山行ではテントが水をすって重くなることがあまりなかったと思います。（天気に恵まれた、ということも原因の一つかもしれませんが）火器は新品を使用しているのに着火装置が上手く働かないのでライター必須でした。出発前にライターのガスは確認すべきでしたね（初日にガス切れしました。お許してください）それと屋外での画期的な虫よけを誰か発明してくれないものでしょうか…。TWから思っていたことですが、靴はとても重要ですね。インソールの偉大さには驚くばかりです。

最後に、こんなのは蛇足ですが「忘れ物はありませんか？」毎回確認してから山行に行きたいものです。ただもっているというだけではなく、きちんと使用できるかどうかそれが色んな事を左右してしまうこともあるのですから…。私が言えたことではないですが。

医療報告

担当：今野

No. 7 使用せず！

我々は無事に帰還してきた！

これは大変喜ばしいことである！

諸君の健闘を（ry

・感想

医療パックを使用することにならなくて良かったです。

会計報告

担当：田邊真輝

収入

¥30,000×4 = ¥120,000

支出

6月22日	地図 (6枚)	¥1,614
6月25日	山と高原の地図 (2冊)	¥1,890
6月27日	地図 (4枚)	¥1,080
6月29日	地図 (10枚)	¥2,700
7月 4日	企画書コピー用紙	¥912
	企画書印刷	¥1,070
7月13日	地図 (4枚)	¥1,080
7月15日	差入れ	¥1,238
	おそろい	¥420
	ブス板	¥394
	ガス缶 (3缶)	¥1,860
	ジフィーズ (松崎)	¥1,113
	ジフィーズ (今野)	¥0
	ジフィーズ (田邊)	¥378
	ジフィーズ (本田)	¥1,155
7月18日	企画書印刷	¥1,000
7月20日	防水スプレー (2缶)	¥2,600
7月31日	結成式	¥16,000
8月 6日	企画書郵送	¥600
8月12日	エッセン	¥4,508
	絵日記	¥128
	防水スプレー (2缶)	¥2,600
8月16日	富山駅から折立のバス	¥13,600
	薬師峠キャンプ場	¥2,000
	トイレ	¥500
8月17日	薬師峠キャンプ場	¥2,000
	トイレ	¥500
8月18日	雲ノ平キャンプ場	¥2,000
	トイレ	¥500
8月19日	双六キャンプ場	¥2,000

	トイレ	¥500
8月20日	槍ヶ岳キャンプ場	¥2,000
	水	¥1,000
8月22日	宿泊（宝岳館）	¥36,000
	入湯税	¥600
	お土産	¥630

全合計	¥108,170
ジフーズ代金を抜いた合計	¥105,524
ジフーズを抜いた1人あたりの合計	¥26,381
1人あたりのキャッシュバック	¥3,619

キャッシュバック

松崎	¥2,506
今野	¥3,619
田邊	¥3,241
本田	¥2,464

C.L.総括

担当：田邊真輝

今年の夏合宿を振り返る前に・・・

5月頃、今年の夏合宿をどうするかという話があったときに、私は今村君が C.L.を務める四国パーティに付いて行って楽をしようと考えていました。しかし、去年の夏合宿では私が高山病になってしまい、夏合宿をわずか1日で終了させてしまいました。そのことで、パーティのみんなや、C.L.として夏合宿を計画してきた今野先輩に申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。それにこのままだと

- 1年→夏合宿未達成
- 2年→金魚のフン
- 3年→またも金魚のフン
- 4年→研究室

となり、大学卒業後に振り返ったとき、「いったい何がしたかったんだろう」となりそうな予感があったので、今野先輩とともに北アルプスヘリベンジしようということで、北アルプスパーティを立ち上げました。

最初に、何もわからず立てたコースは、薬師岳ピストンという、今考えると「はぁ!？」と言いたくなるほどお粗末なものでした。部会で企画を出したら、松崎先輩が槍ヶ岳に行けばいいと言ったので、薬師岳から三俣蓮華岳や双六岳を通り、最後に槍ヶ岳に行くコースにしました。そこからは毎週 T.W.をしつつ、コースタイムを考えたり、必要なものを買ったりして、夏合宿へ向け準備しました。

前置きが長くなりましたが、ここから夏合宿を振り返っていきたいと思います。

今回の夏合宿は全体的にみて、怪我をする人もおらず、山行中に雨にあたったのは約30分と、天候にも恵まれたものだったと思います。コースタイムに余裕を持ちすぎたのか、どの日も13時前には行動が終わっていました。早く行動が終わることはよいことです。

山行自体はとくに大きな問題はありませんでしたが、山行2日目で私が財布を失くし、山行3日目では本田君が財布を失くし、とどちらも見つかったからよかったものの、物の管理があまりと感じさせられました。

北アルプスは山荘や小屋がたくさんあり、だいたいどこでもカレーやラーメンを食べることができたり、チョコやスナック菓子、ジュースなどを買うことができたりと、とても驚きました。また、水場の水がとても冷たかったり、トイレがきれいだったり、環境もとてもよかったです。

ウサギやライチョウなどを見ることができたり、ご来光がとても感動的だったりと見どころがたくさんありました。また、今いる山から昨日いた山や、明日いるであろう山を見ることができるのもアルプスのいいところだと思います。

エッセンの順番を変えたり、山行中の水を4Lから2Lにしたりと、いろいろ変更が多い合宿でしたが、槍ヶ岳経験者の松崎先輩、C.L.のノウハウを教えてくれた今野先輩、ときに奇抜な行動をとってくれた本田君に支えられ、無事夏合宿を終えることができました。右も左もわからないC.L.でしたが、最後までついてきてくれて本当にありがとうございました！



以上で報告終わります。